



小松島

仙台市立小松島小学校

学校だより No. 13

令和5年2月22日

仙台市青葉区小松島2丁目1番1号

Tel: 022-234-1354 / Fax: 022-234-1356

E-mail: komasyo@sendai-c.ed.jp

URL: <http://www.sendai-c.ed.jp/~komasyo/>

— 本年度の学校評価について —

(協働型学校評価の重点目標を中心として)

到達目標「豊かなコミュニケーション力の育成」
重点目標「相手や場に応じた挨拶や優しい言葉づかいができる」

本校の学校評価に関しまして、保護者や地域の皆様にもご協力いただき、回答を得ることができました。

- ① 児童による「学校生活アンケート」は令和4年6月と12月、朝の活動の時間等に実施しました。
(6月) 485名中、回答461名(回収率 約95%)
(12月) 491名中、回答423名(回収率 約86%)
- ② 学校運営アンケート「保護者による学校評価」は令和4年12月に実施し、保護者配付数491名中、回答301名(回収率 約61%)でした。
- ③ 学校運営アンケート「地域による学校評価」は令和4年12月に、小松島小学区内の町内会長、関係諸団体、学習ボランティアや防犯ボランティア(保護者を除く)の皆様配付し、依頼数36通中、回答22名(回収率 約61%)でした。

今年度も昨年同様に、協働型学校評価の到達目標を「豊かなコミュニケーション力の育成」とし、その重点目標を「相手や場に応じた挨拶や優しい言葉遣いができる」と設定して取り組んでまいりました。本重点目標の達成度については、12月に実施した家庭・児童・地域のアンケートから挨拶に関する項目において、「はい」及び「少しはい」と回答した割合(肯定的評価)をまとめたところ、以下のような結果となりました。

対象	質問項目	肯定的評価
児童	お家の人とあいさつをしている	91%
	先生とあいさつをしている	90%
	友達とあいさつをしている	87%
保護者	お子さんは、家族などの身近な相手にあいさつや返事をしている	96%
	お子さんは、家族などの身近な人の話を良く聞いている	92%
	家庭では、子供の話をよく聞くようにしている	99%
地域	小松島小の子どもたちは、元気にあいさつしている	96%

学校・家庭・地域とそれぞれの立場から、今年度も具体的な手立てを共有して取り組んでまいりました。結果を見ると昨年よりわずかに肯定的回答が少なくなった設問もありますが、おおむね昨年同様よい結果が得られました。保護者アンケートにおいては、昨年度よりも評価が高くなっている項目が22項目中16項目で見られました。

一方、下記のような結果も得られ(肯定的回答が7割未満の質問項目)、これらが本校の課題点となることが考えられます。

対象	質問項目	肯定的評価
児童	授業中、手を挙げて発表している	65%
保護者	お子さんは学年×10分以上学習する習慣が付いている	68%
	お子さんは地域や近所の方に進んであいさつをしている	64%
	お子さんは、家庭で読書する習慣が付いている	55%

なお、昨年度と比較し、児童アンケートで「学校が楽しい」「授業が楽しい」の肯定的回答がそれぞれ3%ほど今年度増えています。学校が子供たちにとって、居心地の良い、楽しい場であるよう今後も努めてまいります。

(裏面もご覧ください)

保護者の方の挨拶への取組から

保護者より、挨拶について家庭で意識して取り組んでいることに関して、96名の方から具体的な回答がありました。家庭でもお子さんとともに意識して「相手や場に応じた挨拶」に向けて取り組んでいただいていることが分かりました。保護者の方のご協力に感謝申し上げます。ここで、一部を抜粋してご紹介いたします。すばらしい取組ですので、今後も継続して家庭で取り組んでいただければと存じます。

親の自らの行動で伝える

- ・親から積極的に挨拶している。（おはよう、おやすみ、行ってきます、行ってらっしゃいなど）
- ・親が、手本になる行動を見せるようにしている。
- ・親が汚ない言葉は使わないように心掛けている。
- ・家族間でもお互いに敬意を持って会話をしている。親でも間違ったら積極的にミスを認め謝っている。
- ・親が近所の方等と挨拶している姿を見せる。

親が子に教える

- ・言葉遣いはその都度注意する。汚い言葉遣いはすぐに注意して訂正させている。
- ・テレビやタブレットなどの遊びはあまりさせず、人との触れ合いや遊びの中でコミュニケーションがとれるように配慮している。

子に寄り添う・話を聞く

- ・子供が話している時に、遮らないようにしている。
- ・なるべく2人きりで話す時間を取るようにしている。
- ・学校でイベントがあった時や、普段話さない事を話してきた時は掘り下げて聞いている。
- ・本人が考えて行動ができるよう、具体的な指示ではなく、できるだけ見守るよう努力をしている。

その他の工夫

- ・子供がどんなことでも話せるように、親も正直に子供に話している。すると、会話が多くなった。
- ・おはよう選手権というのをやっていて、きょうだいでどちらが早くおはようと言えたかやっている。
- ・ニュース・新聞等で気になる表現については用例や意味について情報交換をするようにしている。

よりよい学校にするための考え(児童の自由記述から)

児童からも、よりよい学校にするためにたくさんの考えが寄せられましたので、紹介いたします。

ふわふわ言葉を使う(158人)

- ・ふわふわことばをいっぱいつかう。チクチクことばをいわない。

他児との交流(44人)

- ・他の学年との交流をもっと増やす。
- ・仲良く遊ぶ。松の実まつりのようなことをやる
- ・毎日10人以上と話す。一人一人に関心を持つ。興味を持つ。

感染対策(38人)

- ・コロナウイルスに気をつけながらも皆と楽しく過ごす。マスクをちゃんと付ける。

いじめ防止(26人)

- ・いじめをなくす。いじめのない学校にする
- ・いじめや人が不快になることが減るよう心がける。
- ・いじめをした人が正直者になるような温かい環境を作る。

学校のルールを守る,優しい行動(26人)

- ・けんかをしない。けんかをしたらすぐあやまる。
- ・困っている人やいじわるをされた人に「大丈夫？」や「どうしたの？」と優しく声をかける。
- ・自分がやられて嫌なことを他人にしない。
- ・常に周りのことを考えて行動する。
- ・他の人のよいところを言うていく。

挨拶に関して(18人)

- ・挨拶をする。人の気持ちを考える。元気な挨拶をいろいろな人にする。
- ・明るく地域の人と挨拶する。積極的に挨拶をする。

その他(25人)

- ・困ったことがあったらすぐに相談する。